

がんばるけん！

くまもとけん！



～第32次地方制度調査会ヒアリング資料～
**熊本県における
農業の取組みについて**



平成30年10月25日
熊本県知事 蒲島郁夫

目指す方向 ～稼げる農業～

$$R = P \times Q - C$$

P…Price (付加価値向上)

→ブランド化 等

Q…Quantity(収量・販売増)

→スマート農業 等

C…Cost (コスト削減)

→農地集積による大規模化、法人化 等

Price ~ブランド化(くまもとの赤)~



Quantity ~スマート農業~

自動換気装置



養液土耕かん水装置



環境制御装置



循環扇



自動カーテン



搾乳ロボット



ほ乳ロボット

Cost ～農地集積と大規模化～

知事に
大事な農地を
預けてください!

知事の
メッセージ

蒲島郁夫
熊本県知事

徹底した
話し合い

法人設立

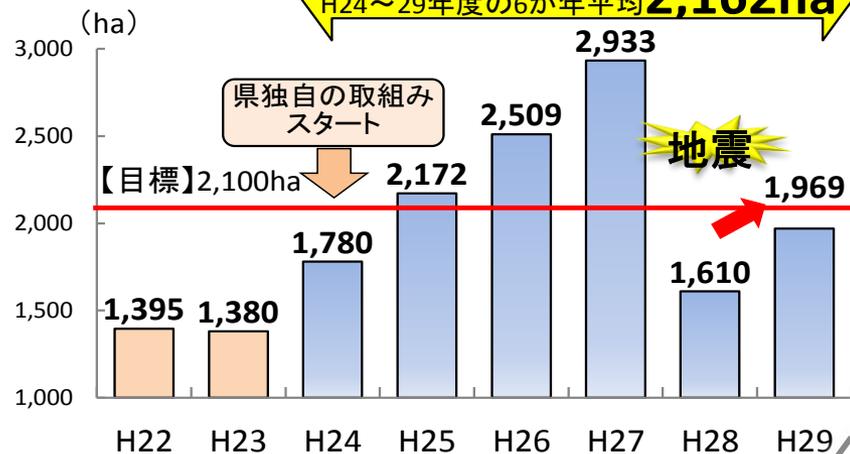
100haを超える
広域農場が次々に設立

農地集積目標
2,100ha/年を達成

H24～29年度の6か年平均**2,162ha**

ネットワーク大津(株)
H25.7月設立
経営面積:326ha

12の営農組織を再編・統合
生産コスト3割減を実現



※熊本県調べ

担い手の確保・育成

就農相談、研修、就農、定着まで、
「切れ目のない」サポートを実施



くまもと農業経営塾
(トップリーダー育成)

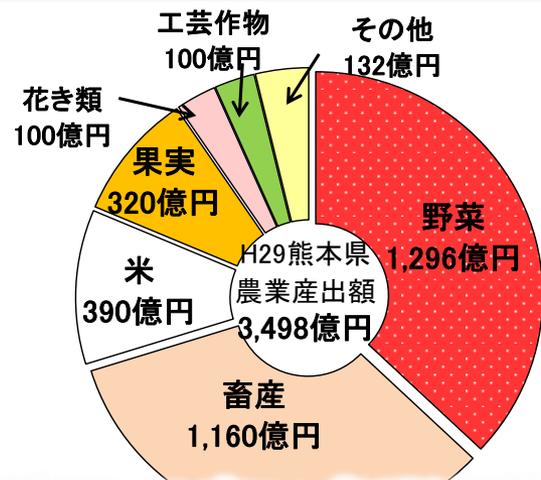


くまもと農業アカデミー
(リカレント教育)



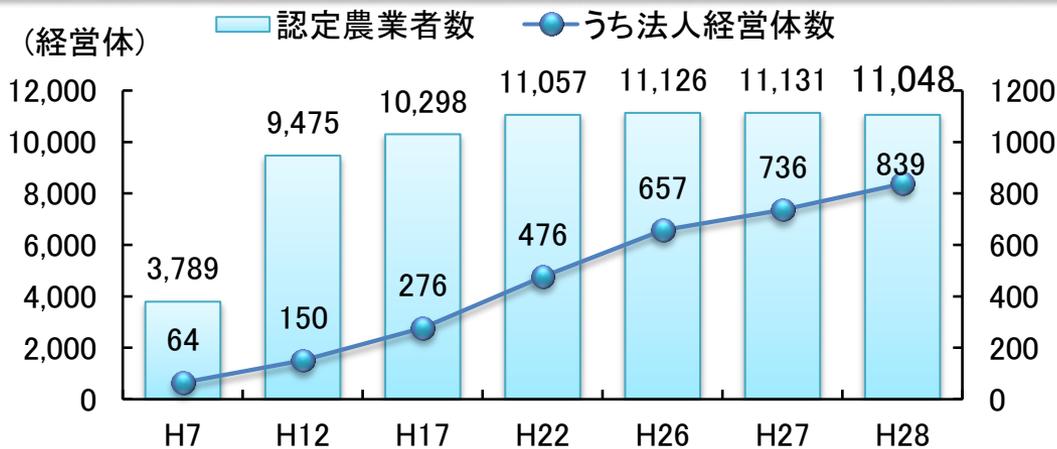
総合的な施策の成果

○平成28年熊本地震による被害を受ける中、農業産出額は8年連続増加



バランス良い多彩な営農

○法人経営体は着実に増加。認定農業者数は、北海道、新潟に次ぐ3位。



蒲島県政の目標

【従来の行政】

指導・規制
管理・継続性
画一性

行政の
パラダイム
シフト

県民の
総幸福量の
最大化

- ① できないと思うな、どうしたらできるか考えよ
- ② 皿を割ることを恐れるな
(失敗を恐れず、チャレンジせよ！)

県庁を「挑戦する集団」へ改革

対応の政治 ～鳥インフルエンザ～

平成26年4月、平成28年12月 発生

【4つの原則】

- ①迅速な「**初動対応**」
- ②ウィルスの「**封じ込め**」
- ③「**監視体制**」の強化
- ④風評被害のための「**広報**」

⇒皿を割ることを恐れない迅速な取組みは**全国のモデル**に



人口減少社会への挑戦

～条件不利な中山間地域における所得確保～

新たな
チャレンジ

里の美しさを、未来へ、世界へ。



くまもと
里モン
プロジェクト

地域の宝を
発信



「芽吹き」を稼げる農業・農村へ



高収益品目の導入



ブランド化

地域自らが
ビジョンづくり



ジビエ



観光との連携

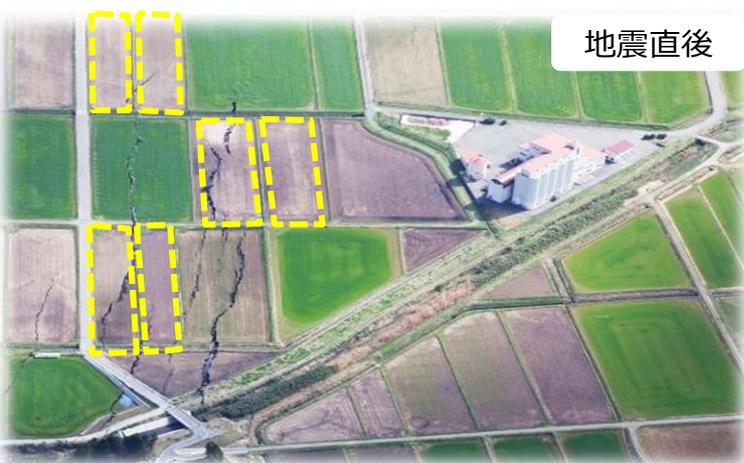
目指す姿

持続可能な農業・農村

熊本地震と創造的復興

過去に例の無い広範かつ甚大な被害

ピンチを
チャンスに!!



創造的復興
(大区画化等)

復旧・復興に併せ競争力の高い農業を実現

最後に～国に求めること～

チャレンジする自治体を
応援して欲しい。

御清聴ありがとうございました



がんばるけん！
くまもとけん！

【以下参考】

熊本県の農業の特徴 (各種統計データを使用)

熊本県の概要

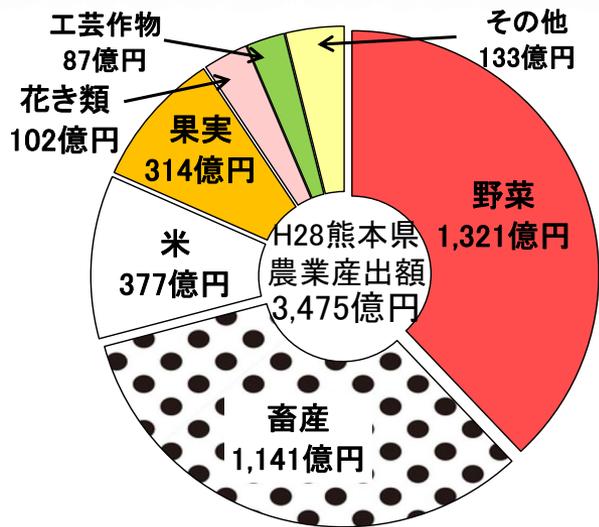
項目	数値	全国順位
面積 (H28)	7,409km ²	15位
人口 (H29)	1,766千人	23位
耕地面積 (H29)	111.8千ha	13位
農家戸数 (H27)	58.4千戸	14位
主業農家数※ (H27)	13.8千戸	2位
農業産出額 (H28)	3,475億円	6位
生産農業所得(H28)	1,373億円	6位

※農業所得が主で65歳未満の農業従事60日以上のある者がいる農家

世界農業遺産の阿蘇地域



バランス良く多彩な営農を展開



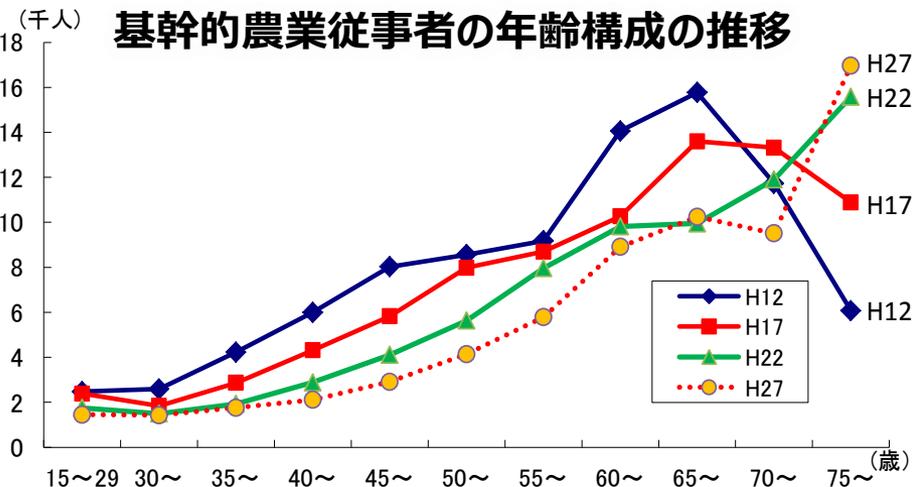
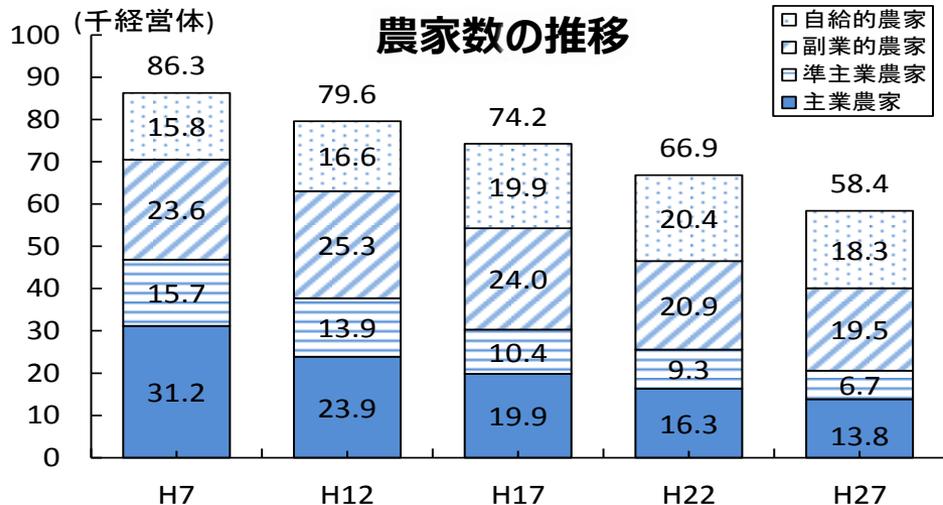
7品目で日本一の生産量



熊本県における担い手減少・高齢化等の状況

○全国と同様に、農家数は減少し、農業従事者は高齢化

⇒今後、農業従事者が更に大きく減少することを懸念



○全国と同様に、農地面積は、農家数の減少等に伴い、減少

⇒都市周辺での開発や中山間地域等での荒廃化などによる、さらなる減少を懸念

